

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



Semester	the first semester	Day・Period	MON 3
Class period			
Required/Elective class	elective	Number of credits	2.0
Time schedule code	20140587010502	Subject code	05870105
Subject	International Societies and Japanese Economy		
Professor in charge of putting together the course syllabus	Umali Celia Lopez		
Professor in charge of the subject	Umali Celia Lopez		
Professor(s)	Umali Celia Lopez		
Class type			
Year	1th, 2th, 3th, 4th	Class form	Lecture
Class room	RoomA-42		
Object Student			
E-mail address	umari@nagasaki-u.ac.jp		
Laboratory	Fac. of Economics, Main bldg. Rm.504		
Tel	(095) 820-6327		
Office hours	Friday 2-5pm		
Course Outline and Objectives	At the end of this course, the students will have a better understanding of the rapidly changing global business environment and the social, political, and economic drivers in Asia.		
Goal	The main goal of this lecture is to study the global business environment in the Asian region which is becoming a huge economic power zone .		
Method	This is mainly a lecture type course.		
Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation 2. Introduction: Asian economy and look ' East ' strategy 3. Globalization: Concepts and drivers 4. International business and the global economy: Motivations 5. Ditto 6. FDI led growth and export oriented strategy 7. Theories of trade 8. Ditto 9. Theories of investment 10. Mid-term exam 11. Regional Integration 12. Structural Change in Asia 13. Asian Demographics 14. Human Capital: Education and Innovation 15. Conclusion 		
Key word	Asia, global economy, international business, demographics, human capital, innovation		

Textbook,Teaching material,and Reference book	Hill, Charles, International Business, McGraw Hill, 2011. World Bank, East Asia and Pacific Economic Update, 2011.
Evaluation	Mid-term exam 50% Final exam 50%
Requirements	Good knowledge of English is very important.
Remarks(URL)	
Message for students	Lecture, mid term and final exams are done in English.



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587010902	科目番号	05870109
授業科目名	●現代経済と企業活動II(地域社会と日本経済)		
編集担当教員	片山 朗		
授業担当教員名(科目責任者)	片山 朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	片山 朗		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	1年,2年,3年,4年		
担当教員Eメールアドレス	akiraka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部 東南アジア研究所303号室		
担当教員TEL	095 - 820 - 6405		
担当教員オフィスアワー	木曜日14:30 - (事前にメールで予約確認のこと)		
授業の概要及び位置づけ	日本経済のこれまでの動向、今後取り組むべき課題などについて理解し、地域社会の展望につなげていくことを目指す。		
授業到達目標	日本経済および地域社会の諸課題に関し、マクロの視点に立った対処方法を自分なりに考えることができる。		
授業方法(学習指導法)	経済統計、政府公表資料などを題材として、講義形式で実施する。		
授業内容	マクロ経済の基本的考え方および日本のGDPについて概観した後、前半ではGDPに影響を及ぼす各経済変数および経済政策のこれまでの動向について、後半では今後取り組むべき政策、目指しうる社会などについて、事例を引用しながら考察する。		
	回	内容	
	1	イントロダクション 世界から見た日本経済の位置付け	
	2	生産要素から見た潜在成長力	
	3	注目すべき経済指標(1) GDE、家計消費	
	4	注目すべき経済指標(2) 賃金、物価	
	5	注目すべき経済指標(3) 経常収支、為替レート	
	6	中央銀行による金融政策	
	7	景気対策としての財政政策	
8	中長期的な経済政策		

	9	将来人口推計と人口構造変化
	10	取り組むべき経済社会問題（1） 財政制約
	11	取り組むべき経済社会問題（2） 世代間格差拡大
	12	取り組むべき経済社会問題（3） 地域間格差拡大
	13	社会全体で目指すこれからの豊かさ（1） 多様なライフスタイルの実現
	14	社会全体で目指すこれからの豊かさ（2） 思いやりのある社会の実現
	15	最近の経済政策
	16	授業の総括（試験含む） など
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。 参考書：小峰隆夫・村田啓子『最新日本経済入門』第4版 日本評論社	
成績評価の方法・基準等	期末試験100%を基本とし、課題に対する取組、講義への積極的な姿勢等も加味する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587011302	科目番号	05870113
授業科目名	●現代経済と企業活動II(企業行動と戦略)		
編集担当教員	後藤 祐一		
授業担当教員名(科目責任者)	後藤 祐一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	後藤 祐一		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yuichi-g@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部 東南アジア研究所314号室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日12:00～13:00		
授業の概要及び位置づけ	日常生活を営む上で関わっている企業の行動について、身近な事例などを取り入れながら、企業の行動を理解するための基本的な知識を習得すること。		
授業到達目標	企業の行動について、習得した知識にもとづき考察できるようになること。		
授業方法（学習指導法）	基本的に講義形式で行いますが、数名のグループでディスカッションなどを行うこともあります。また、ビデオやDVDなどの映像資料を用いることもあります。		
授業内容	現時点で予定している内容は、下記のとおりです。変更がある場合は、初回の講義時に説明をします。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	個人の行動	
	3	パーソナリティ	
	4	モチベーション①	
	5	モチベーション②	
	6	意思決定	
	7	集団行動①	
	8	集団行動②	
	9	コミュニケーション	
	10	リーダーシップ①	
	11	リーダーシップ②	
12	業界構造分析		

	13	3つの基本戦略①
	14	3つの基本戦略②
	15	製品ライフサイクル別戦略
	16	定期試験
キーワード	企業の行動, 組織, 戦略	
教科書・教材・参考書	教科書は指定しません。毎回, 資料を配布します。	
成績評価の方法・基準等	定期試験 (50%) と講義中の課題 (50%) で評価します。	
受講要件 (履修条件)	原則として毎回出席すること。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587011702	科目番号	05870117
授業科目名	●現代経済と企業活動II(社会制度と経済活動)		
編集担当教員	深浦 厚之		
授業担当教員名(科目責任者)	深浦 厚之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深浦 厚之		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	1, 2年		
担当教員Eメールアドレス	afukaura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部 東南アジア研究所210号室		
担当教員TEL	095-820-6359		
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ	市場経済・自由競争の意義と機能を理解する。		
授業到達目標	市場経済・自由競争の意義と機能を理解する。		
授業方法(学習指導法)	指定したテキストの内容に関する講義のほか、クリティカルリーディングの手法を利用したディスカッションを行う。		
授業内容	以下の順序で講義を進める。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	市場の威力	
	3	統制という暴政	
	4	福祉という欺瞞	
	5	何のための平等か(1)	
	6	何のための平等か(2)	
	7	学校教育制度の退廃	
	8	市場が消費者を守る	
	9	市場が労働者を守る	
	10	市場が貧困者を守る	
	11	経済的自由と政治的自由(1)	
12	経済的自由と政治的自由(2)		

	13	自由社会における政府の役割（1）
	14	自由社会における政府の役割（2）
	15	総括
	16	学期末試験
キーワード	自由 競争 市場	
教科書・教材・参考書	<教科書：講義必携> 資本主義と自由、ミルトン・フリードマン（村井章子訳）、日経BP社（2008）、2400円 選択の自由、ミルトン・フリードマン（西山千明訳）、日本経済新聞出版社（2012）、2520円	
成績評価の方法・基準等	学期末試験70%、講義への参加の程度30%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	教養教育とは「古典」をじっくり読むことから始まります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587012102	科目番号	05870121
授業科目名	●現代経済と企業活動II(経営情報と会計情報)		
編集担当教員	林川 美由樹		
授業担当教員名(科目責任者)	林川 美由樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	林川 美由樹		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部(片淵キャンパス)本館610号室		
担当教員TEL	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー	水曜日13:00-14:00(要予約)		
授業の概要及び位置づけ	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポーティングがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのかを行動実験を基にした学説を通じて学ぶ。		
授業到達目標	変遷する社会環境下における最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
授業方法(学習指導法)	会計報告の諸問題を理解するとともに、実際にグループワークを通して、経営者の開示インセンティブと投資家の情報ニーズのマッチングについて問題点を探し出す体験型の学習を行う。		
	初回イントロダクションにおいて会計監査の定義を行い、その後、「社会科学としての会計学」、「財務報告の国際的動向」、「会計監査の諸問題」、「投資意思決定上の諸問題」、「任意開示意思決定上の諸問題」の5つのテーマをそれぞれ2～3回を用いて学ぶ。それぞれ一般知識のインプットとともに、受講生の意思決定行動の体験ワークを通じて、情報の影響力、感情の作用、それらのコントロールシステムの在り方などを学んでいく。		
	回	内容	
	1	イントロダクション 会計とは何か 財務報告と監査の役割	
	2	社会科学としての会計学(1) シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解	
	3	社会科学としての会計学(2) 功利主義哲学と社会科学の関係～マイケルサンデルの問題提起を参考に	

授業内容	4	社会科学としての会計学（3） コストベネフィット分析と会計諸問題
	5	財務報告の国際的動向（1） 財務報告の目的変遷～会計説明責任と投資意思決定支援
	6	財務報告の国際的動向（2） IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
	7	会計監査の諸問題（1） 厳格監査と馴合監査 ～ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク～
	8	会計監査の諸問題（2） 銀行と監査 ～ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク～
	9	会計監査の諸問題（3） ベンチャー企業と監査 ～ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク～
	10	投資意思決定上の諸問題（1） 財務情報と非財務情報 ～グループワークを通じての意思決定体験～
	11	投資意思決定上の諸問題（2） 強制開示と任意開示 ～グループワークを通じての意思決定体験～
	12	投資意思決定上の諸問題（3） 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造 ～グループワークを通じての意思決定体験～
	13	任意開示意思決定上の諸問題（1） プロプライエタリーコストと開示意思決定 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
	14	任意開示意思決定上の諸問題（2） 評判マネジメントと開示意思決定 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
	15	任意開示意思決定上の諸問題（3） 財務トレンドと任意開示量の関係 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
	16	定期試験
	キーワード	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定
	教科書・教材・参考書	初回講義時に知らせる。加えて、適宜、必要な資料を配布する。
	成績評価の方法・基準等	講義中のグループワーク（30％）期末レポート（60％）その他（10％）により評価する。
受講要件（履修条件）	自ら考え動く主体的態度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.